

(仮称)こどもり小中学校の 実施設計書が完成しました

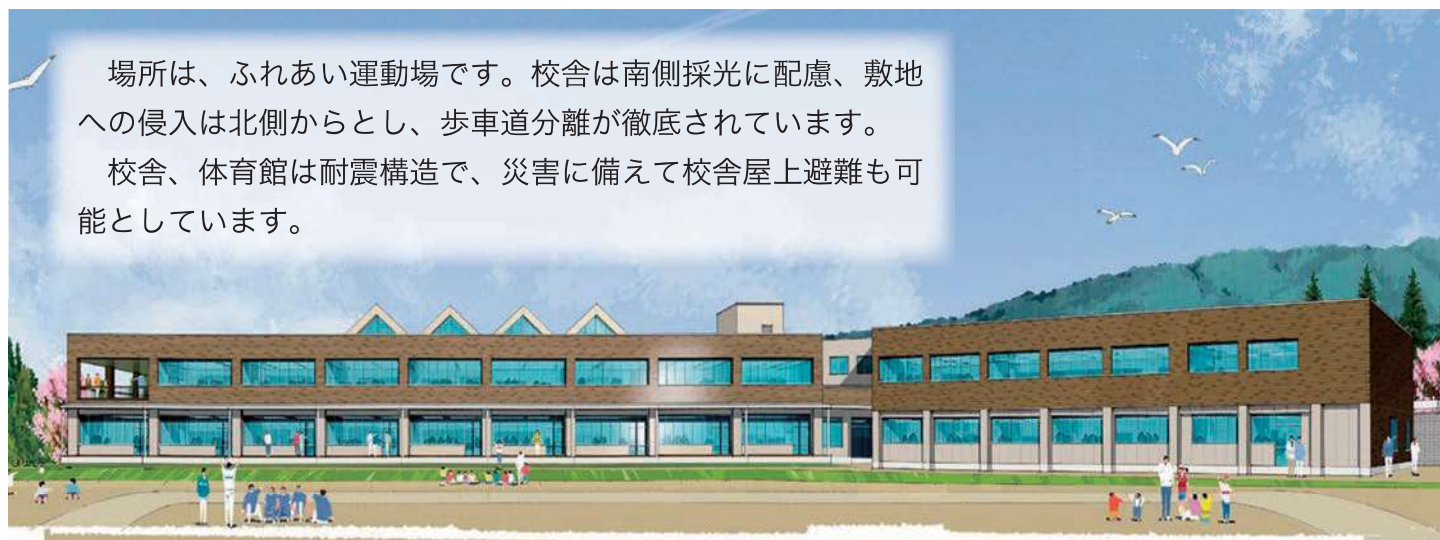


小泊中学校は、校舎の老朽化から現敷地内に建て替える予定でしたが、平成29年6月に計画が保留され、小泊地域での懇談会やアンケート結果などを踏まえて、平成30年2月に小学校と中学校が一体となった校舎を整備する方針が決められました。

そして、(仮称)こどもり小中学校設置検討委員会での検討内容をもとに整備の計画が進められ、このたび、設計図となる実施設計書が完成したので、その一部を紹介します。なお、(仮称)こどもり小中学校は令和4年4月に開校予定です。

場所は、ふれあい運動場です。校舎は南側採光に配慮、敷地への侵入は北側からとし、歩車道分離が徹底されています。

校舎、体育館は耐震構造で、災害に備えて校舎屋上避難も可能としています。





2階建ての校舎の中央に設けられた吹き抜け部分には、多目的スペースの役割があります。1・2階を結ぶ中間階的な利用方法や、交流の相乗効果を与える狙いがあります。

普通教室は南側採光で、自然採光、自然通風が図られています。また、普通教室の冷暖房に地中熱を利用し、省エネルギーに配慮しています。

校舎南側にはワークルームを併設させた教室群が並んでいます。教室とワークルームが一体であることから、様々な学習形態を可能としています。ワークルームにつながる位置には、「カケゴヤ」が設けられています。グループ学習やサークル活動、休憩、相談など変化に富んだ交流の場をつくりました。

